

KYOWA RUBBER

すべてのFEP管に対応した
なんでも継手®

難 燃 仕 様



共和ゴム株式会社

KYOWA RUBBER Co., LTD.

1 すべてのFEP管に対応!!

現在市場にある全ての「波付硬質ポリエチレン管 (FEP)」に対応しています。(平成22年1月現在)

2 施工性が大幅UP!!

現場で簡単に接続でき、すぐに「埋め戻し」が出来ます。

3 確実な止水性!!

水膨張性不織布を使用しており、優れた止水性能があります。

4 滑剤が不要!!

施工に、滑剤等は一切必要としません。

5 難燃性!!

自己消火性を有しております。

製品仕様

サイズ	入数 (1ケース)	Aタイプ		Bタイプ	
		最適削孔径 (mm)	適応壁厚 (mm)	最適削孔径 (mm)	適応壁厚 (mm)
φ30	30個	φ46 以上	200 未満	φ46~50	(一般) 100 未満
φ40	30個	φ56 以上		φ56~60	
φ50	20個	φ66 以上		φ66~70	
φ65	20個	φ85 以上		φ85~90	(ロング) 100 ~150
φ80	18個	φ100 以上		φ100~105	
φ100	12個	φ120 以上	250 未満	φ120~125	
φ125	6個	φ153 以上		φ153~160	~150
φ150	5個	φ178 以上		φ178~185	

※独立山タイプはφ100までとなります。



施行方法

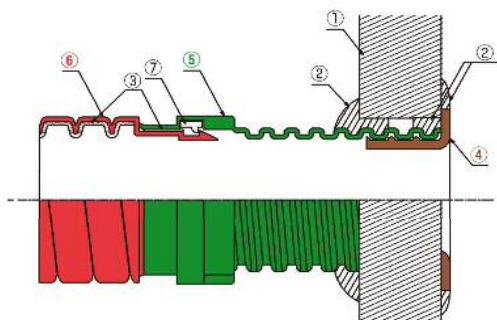
Aタイプ



エポキシ樹脂で接続

施工図

- ①ハンドホール
- ②エポキシパテ (ユーザー施工)
- ③水膨張性不織布
- ④ベルマウス
- ⑤受け継手
- ⑥差込継手
- ⑦抜け止め



ハンドホールに取り付け



1 なんでも継手
Aタイプ 部品



2 エポキシ樹脂にて取り付け
(表側)



3 エポキシ樹脂にて取り付け
(裏側)



4 エポキシ樹脂硬化後
(表側)



5 エポキシ樹脂硬化後
(裏側)



6 取り付け完了

水密性試験

電線共同溝管路材試験実施マニュアル
3.3.9 水密性試験準備

- ① 外水圧試験器にて外部から徐々に水圧を加え、0.05MPaの水圧に達した後、5分間保持し、このときの漏水の有無を調べる。
- ② 上記試験方法にて、各社(6社)波付硬質ポリエチレン管(FEP管)の、各サイズを行う。

【試験結果】

外水圧 0.05MPa 5分間 保持		
各社 ポリエチレン管		状 況
1	A社製 波付硬質ポリエチレン管 (FEP管)	漏水なし
2	B社製 波付硬質ポリエチレン管 (FEP管)	漏水なし
3	C社製 波付硬質ポリエチレン管 (FEP管)	漏水なし
4	D社製 波付硬質ポリエチレン管 (FEP管)	漏水なし
5	E社製 波付硬質ポリエチレン管 (FEP管)	漏水なし
6	F社製 波付硬質ポリエチレン管 (FEP管)	漏水なし



各社パイプ



試験機セット



管内部状況(漏水なし)



漏水なし

引張試験

- ① なんでも継手の受け継手と差込継手を接続し、引張試験機にセットする。
- ② 徐々に荷重をかけてゆき、規定の引張荷重に達しても、接続部に異常がないことを確認する。



実験開始(50φ)



引張過重(約1500N)



異常なし(全体状況)

施行方法

B

タイプ

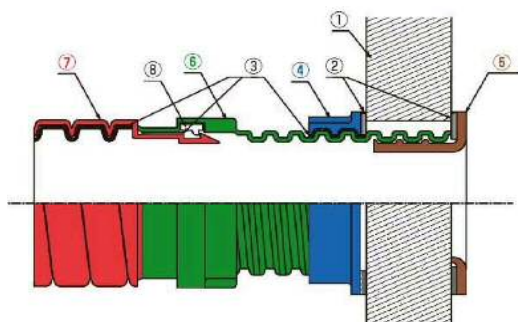
取り付け簡単



ブッシングとベルマウスで接続

施工図

- ① ハンドホール
- ② 超軟質ゴム (水膨張性不織布付)
- ③ 水膨張性不織布
- ④ ブッシング
- ⑤ ベルマウス
- ⑥ 受け継手
- ⑦ 差込継手
- ⑧ 抜け止め



ハンドホールに取り付け

※ブッシングの締め付けはスパナを御使用下さい。(φ50以上)
※専用スパナも御用意しております。(オプション)



1 なんでも継手
Bタイプ 部品



2 ハンドホールに
受け継手を挿入



3 ハンドホールにベルマウス
取り付け(最後までしっかりと
締め込んで下さい)



4 ブッシング締め付け
(継手が削孔径の中心にくるよう
に締め込んで下さい)



5 ブッシング締め付け
(最後までしっかりと締め込んで
下さい)



6 取り付け完了

施工方法

FEPスパイラル管取り付け方法



1 差込継手を回しながら
はめ込む



2 これ以上ねじこめない
ところまでねじこむ



3 FEP接続完了



4 本管との接続(入りにくい場合は
上下左右に動かしながらはめ込んで下さい。
カチッと音がするまでしっかり差し込んで下さい)



5 取り付け完了



注) 差込継手は使用する直前まで
袋から取り出さないようにして下さい。

FEP独立山パイプ取り付け方法



1 なんでも継手
(独立山パイプ用) 部品



2 独立山パイプに差込継手を
奥までしっかり差し込む



3 FEP接続完了



4 本管との接続(入りにくい場合は
上下左右に動かしながらはめ込んで下さい。
カチッと音がするまでしっかり差し込んで下さい)



5 取り付け完了



注) 差込継手は使用する直前まで
袋から取り出さないようにして下さい。

注意事項

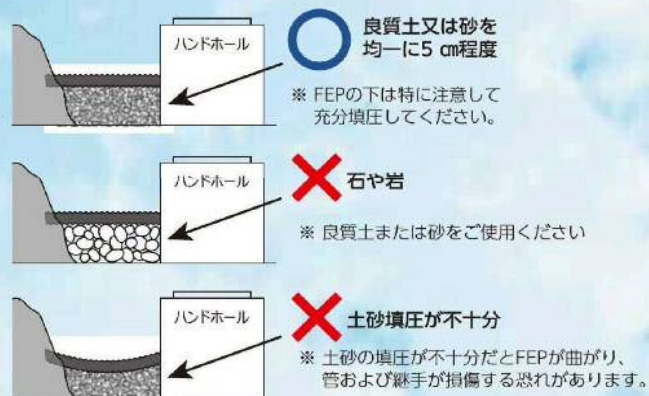
施工方法は、「公共建築工事標準仕様書 電気設備編 平成28 年度版 2.12.4 項 管路等の敷設」に記載されている施工方法を推奨しております。(以下、抜粋内容記載)

硬質ビニル管、波付硬質合成樹脂管等の敷設は、良質土又は砂を均一に5 cm程度敷きならした後に敷設し、上部を同質の土又は砂を用いて締固めて下さい。

- ・差込継手は使用する直前まで袋から取り出さないようにして下さい。
- ・不等沈下大きい場所での使用はお控えください。
- ・管内部に大量に水が浸入している現場での使用はお控えください。
- ・掘削溝は平滑にならして填圧してください。コンパクターを使用すると能率的です。
- ・ハンドホール(マンホール)壁面付近の土砂填圧は充分に行ってください。

特にハンドホール等壁面近くの土砂の填圧は入念に行い、段差が生じない様にして下さい。また、石等を含む残土は、管及び継手に損傷を与えますので管床に使用しないでください。

段積みする場合は、1 段目を砂で埋め戻した後、2 段目を施工して下さい。



- ※ 当社での取付加工時はBタイプを使用
- ※ 加工の際は現場で使用するFEP管のメーカー名を教えてください。